

## 小曽根病院

(平成 25 年 7 月 8 日訪問)

平均在院日数 253 日(平成 25 年 6 月 30 日時点)

### 積極的な取り組みなど

意見箱が公衆電話の個室にあり、投書しやすいそうだった。意見箱の横に掲示されていた「意見の回収から報告書に至る流れ」という掲示があり、わかりやすい。投書が多く、意見箱が活用されていた。

### 前回の訪問(平成 19 年 2 月)から改善されていたことなど

- トイレ個室にトイレトペーパーが設置されていなかった件については、設置される予定になっていた。
- ポータブルトイレはカーテンレールの範囲内にあり、患者が使用する姿を見かけることはなかった。
- 複数見られた他の患者から見える状態での拘束、使っていない拘束帯がつけられたままのベッドは、今回はそれぞれ 1 件ずつ見られた。
- 本館の一般浴の浴槽への階段の高さと浴槽の深さは前回の訪問以降、改善などはなかった。

### 病棟について

#### 人権擁護委員会・意見箱

人権擁護委員会は 2 ヶ月に 1 回の開催で委員長は PSW。投書の回収は月 1 回検討され、回答は病棟と外来に掲示される。鉛筆は置かれている病棟とない病棟があった。投書内容は接遇のことが多く、全看護師が受講できるように接遇に関する研修を年に数回実施している。

#### 金銭管理

病院管理は約 430 名。管理料は 9 月から 130 円/日になる。金銭出納の明細や残高は入院費請求時に渡される。詰所のパソコンでも確認でき、患者から尋ねられたときはそれを見て答えるとのこと。ベッドサイドの床頭台に鍵付き部分があった。療養病棟は全員がこの鍵を無料で使える。その他の病棟では 1 日 100 円の利用料がかかり、85 名が利用している。

#### PSW

病棟や入退院担当が 5 名、デイケアに 1 名。支援センターや生活訓練事業など法人全体で 30 名。

#### 面会

面会時間 10:00~12:00、14:00~16:00。面会室もあるが、病室などでも数組の面会を見かけた。

### トイレ・洗面所・洗濯

トイレは殆どが清潔に保たれていた。個室内にナースコールがあった。各病棟に洗濯機と乾燥機があった。ベッド周りに洗濯物を干している患者もいた。

### 病室

4 人部屋が中心。ベッド周りには床頭台、たんす、収納付きの腰掛けがあった。個室のある病棟もあり、病状によって病院側の判断で外から施錠して使うことが多く、その場合には室料はかからない。

### 隔離室

病院全体で 14 室。本館 2 階に 4 室、新館 2 階に 4 室、3~5 階に 2 室ずつ。モニターカメラと集音マイクはあったが、ナースコールはない。壁は木目調でトイレに囲いがあった。トイレの水洗は中から自分で流せない。

### デイルーム・詰所

明るかった。椅子は木目調で肘あて付き。テレビ、給茶機、漫画や新聞があった。隣に喫煙室があった。詰所はカウンターに小窓があった。

### 電話

個室に設置され、椅子が設置されていたが、それでも車椅子で入れる広さだった。法定の機関以外に保健所、ひまわり等の電話番号が掲示されていた。病棟直通の電話番号も貼られていた。新館 3 階では電話個室前に椅子が置かれ、座って順番を待てる。携帯電話は病棟には持ち込めず、外出時に詰所で受け取る。

### 本館 2 階(閉鎖 男女 精神一般 15:1 69 床)

慢性期病棟だが、入退院を繰り返している場合はここに入院する患者もいる。PSW に協力を依頼し、高齢者専用賃貸住宅や薬・小遣いの管理をする職員がいる所など患者ごとにあった住宅を探す。おやつの中にはデイルームにはたくさんの患者がいた。数名はテレビを見ていた。高齢の患者が多かった。

### 患者の声

「入退院を繰り返している」「面会はある。姉に老健も含めて、この病院に住めと言われた。主治医とはゆっくり話せない。だいたい 3 分くらい。病気の説明や薬の説明はない。病室にある棚の高いところは手が届かないので使っていない」「新館 2 階に入院し、移ってきた。2 日ほど具合の悪いことがあ

った。面会はあまりない。ベッドは柔らかい。今回は2ヶ月弱の入院。おやつは火曜日の入浴後に買って来る」「家族の面会がここ数年ない。来て欲しい」「(Y字帯で)車椅子の上ですずっと固定されている人がいる。気の毒に思う」「入院して2年目。まだ外出許可が出ていない。来週から院内に出て行ける。週1回の診察で、話はよく聞いてもらえる。場所は処置室。OTのメニューが幅広い。OTで時間を過ごしている。兄が面会に来る時に売店で買物できる。職員の手を煩わすことはできない」「退院については、家族と相談して計画を立てる。服は家族が持って来てくれる」「今は出られない。医師の散歩許可がある。相談したいけど診察時間は短い。2分診察」

#### 本館4階(閉鎖 男性 精神一般 15:1 69床)

長期入院で高齢となった患者が中心で、認知症患者も増えている。主な退院先は老健、特養、高齢者専用賃貸住宅などだが、数に限りがあり、なかなか退院できない。

デイルームには多くの患者がいた。テレビを観たり、新聞を広げたり、各々過ごしていた。詰所は25度くらいで涼しかったが、病棟は蒸し暑かった。入浴があったため暑くなっている。職員に温度計の場所をたずねたがないとのことだった。

#### 患者の声

「看護師は忙しそうで相談できん。PSWは知らん」「診察時間が2分！何も相談できない」

#### 新館2階(閉鎖 男女 急性期治療 60床)

テレビを見ている患者2~3名、寝ている患者が1名、楽しそうに談笑している患者もいた。「面会者」というカードを下げた人も数名いて、風通しのよさを感じた。15:00になるとラジオ体操が流れ、数名が廊下で体操をしていた。月1回の散髪の日で、何名かが理容師に散髪をしてもらっていた。カットと顔そりで1,900円。「2ヶ月で退院予定。今は1ヶ月と10日」等入院してから1日1日数えて退院の日が来るのを待っている患者が多いようだった。

#### 患者の声

「(看護師のいる方向を気にしながら)他の人に聞いて下さい」「ロッカーの鍵を借りると1日100円かかるから使わない」「お金は病院に預け、週に3,000円もらっている」「入院する時持ってきたズボンが無くなり家族も面会になかなか来ないので困っている。今は昼間も借りた寝巻を着ている」「病院で購入するものは高い。出来るだけ使わない」「夜中に徘徊する人がいて眠れない」「入院がきつくて余計に悪くなりそう」「タバコは1日1箱。吸いたくなく

た時に喫煙室に行く」「1週間くらい入院と言われて入ったが1ヶ月以上たった。借金等で家族に迷惑をかけたので家族が退院するなど言っている」

#### 新館3階(閉鎖 女性 精神一般 15:1 60床)

新館2階で3ヶ月経過した後に移る病棟。亜急性期や慢性期の患者、接続点滴など内科的処置が必要な患者が混在している。酸素吸引の必要な患者は本館に移り、重症化した場合には近くの大和病院に移るよう連携が取れている。患者の半数はベッドから車椅子に移乗するのに介助がいる。

病棟が回廊式になっており、患者2名と看護師1名が早足で歩いていた。デイルームの笹飾りには「早く退院したい」と書かれた短冊が多かった。6月からクーラーが効いて25℃ぐらいとのこと。

#### 患者の声

「入院の予定はなかった。『警察に110番したやろ』と言われたが、していない。退院したい」「夏祭りでバザーに参加できたのが楽しかった」「自宅に戻れる可能性が見えてきたので嬉しい」「週1回面会がある。売店も外にも行きたい時に行ける」「なるべく短い入院で帰りたい」「(退院は)周りの状況が整うのを待っている。あかなんたら引っ越すかな」「記念日には食事に手紙がつく。6月のお祭りも楽しい」「OTはすごく楽しい。OTで自分が作った作品は買える。14円から630円くらい。砂絵は高い。OTに行ける人はケースバイケース。自分は付き添いがついて院内散歩をしている」「売店での買物は週1回でプリペイドカードで買う。洗濯カードは別を買う。伝票が残っているはず」「2~3ヶ月で退院ということだったが、過ぎてしまった。計画書はもらっている。早く退院したい。家族など周囲の状況によって退院できないことも多い。自宅へ帰る人がほとんど。入院形態の違いで処遇が違う」「3月に入院して5月からOT。外出、外泊もできる。お小遣いは自己管理で週2,000円と決められている」「職員の言葉遣いはよい」

#### 新館4階(閉鎖 女性 精神一般 15:1 60床)

車椅子使用の患者が10名以上、寝たきりの患者もいる。1日分ずつの薬の自己管理は3名、内科疾患も抱える重篤な患者が入っている、いろんな状態の患者が混ざっている病棟とのことだった。

独特の臭いがした。病棟内は清掃の行き届いた印象を受けたが、尿もしくは便の臭いと芳香剤が混ざったような臭いだった。デイルームでは職員が2テーブルほど離れた患者に対して「〇〇さん、ギャーギャー言うたらいけないのよ」と中くらいの大きさの声で言っていた。談笑したり、昼寝をしたり、職員に爪を切ってもらっていたり、半数以上の椅子

が埋まっていた。患者の訴えに対し、看護師は穏やかに説明していた。詰所への扉を開けて職員とゆっくり話しをする患者もいた。

#### 患者の声

「先生に今日来ていることを話しているのか？言っていないのなら何も話することはできない」「退院の話は先生に聞いてもいいのか？」「ガンの治療のために転院して戻ってきたところ」「この病院に対して文句はない」「主治医は5分しか話を聞いてくれない」「お風呂にゆっくりつかってられない。さっと入らないといけない」「鍵付ロッカーはお金がかかるから使っていない。下着を盗まれたけど仕方がない」

#### 新館5階(閉鎖 男性 精神一般 15:1 60床)

廊下等で会う患者の年齢は20歳代～60歳代以上と幅広く、車椅子や歩行器の利用者は少なかった。音楽を聴いている患者、読書をしている患者など様々だった。デイルームでカラオケが行われていた。歌う患者、体を揺らして聞いている患者などいた。

#### 患者の声

「退院や薬のことは主治医に相談している」「困っていることはない。ここはいいところ」「入院して18年。病棟が新しくきれいになってよかった。親が入院したため、しばらく面会がない。残金がなくて院内散歩のときにジュース1本、ボールペンや紙さえ買えない」「院バスが14:30までしかないから、面会に来たい人が利用できない」「売店の品揃えには満足している」「缶コーヒーが外で買うよりも高い」「患者同士は、誰が威張るなどなく皆で気を使いあって上手くやっている」「服や石鹸を盗まれることがある」「患者同士でお菓子をあげたりすることも出来ない。少し融通を利かせてほしい」

#### 検討していただきたい事項

##### 任意入院の行動制限について

平成24年度精神保健福祉資料(630調査)によると、任意入院で身体拘束を受けている患者数が28名だった。極めて例外的な場合に限られる任意入院患者に対する身体拘束が多く、例外が例外でなくなり常態化しているのではないかと。

(病院:(略)行動制限最小化委員会より各病棟・主治医へ再度検討を促し早期解除へ向けた取り組みを行うよう要望を出していきたいと思っております。どうしても、身体拘束の継続が必要な患者に対しては早期に医療保護への切り替えを実施していきます。)

##### 拘束中の患者の尊厳について(本館4階)

廊下から患者が拘束されている様子が見えた。(病院:拘束を実施している患者には、安全面および人権面に十分な配慮を行うことを取り決めていきます。カーテンでのプライバシー保護を行うよう常に心掛けていますが、患者の個人的な希望や同室の患者がカーテンを開けてしまうことがあるのが現状です。今後、身体拘束を行っている患者本人や同室の患者への説明などを徹底していくことや身体拘束を実施する患者は可能な限り個室で身体拘束を行うなど、人権的な配慮を確保できるように周知徹底していきたい。)

##### 拘束帯について(本館2階)

拘束帯が付いたままのベッドがあった。(病院:患者が作業療法に参加するために拘束の一時解除を行い(略)誘導後に外すことを考えていましたが、外し忘れてしまったそうです。担当看護師には指導を行い、その後、病棟カンファレンスを開き患者の気持ちや人権に配慮した行動をとるよう全スタッフに指導しました。)

##### 更なる職員研修を

患者から「看護師は優しい」との声がある一方で、「看護師から『次にまた物の貸し借りをしたらしばくぞ』と言って、首を締めるポーズをされた」との声があった。

(病院:病棟スタッフ全員に事実確認の聞き取りを行いました。そのような行動・言動はしていないという返答で事実確認はできませんでした。しかし、患者がそのような思い込まれているのは事実であり、真摯に受け止め、患者に誤解を招くような言動や行動は絶対に行わないよう全スタッフに指導しました。現在、新入職者対象に接遇研修を設けていますが、今回のことをきっかけに人権委員会・接遇委員に進言し、全職員を対象にした接遇研修を設けていきたい。)

##### 退院支援について

患者から「退院は家族と相談する」「3ヶ月との説明があったが退院が延びていて不安」「本当は退院したい。職員にいろいろ言って煩わすのは悪いからそういうことは言わない」との声があった。

(病院:長期入院患者の退院支援については(略)他職種によるチームアプローチにより患者層の分析に基づき、情報提供、個別支援を行っている。(略)院内の相談室だけでなく、地活センター(地域の相談)との連携により取り組んでいる。PSWの周知については平成25年7月17日より、各病棟掲示板へ医療福祉相談室のご案内を掲示した。)

退院にむけて PSW に相談できることは医師や看護師、OT 等からも患者、家族へ伝えていただけているようになっているが、入院時からそうしたことも含めた治療方針、治療計画を立てるといことは今後の課題である。）

#### 外出の機会

閉鎖処遇の患者は週 1 回、売店へ買物に行ける日があったが、患者から「外出は病棟内を歩くだけ」「生活に変化がなく身体がなまってしまう。外に連れて行ってほしい」「院内散歩が 13:30~14:00.短かすぎる」との声があった。

(病院: 当院は開放病棟と個別開放病棟で対応しております。開放病棟においては、8 時~18 時の間は自由に出入りして頂いております。閉鎖病棟では個別開放ですので、主治医からの外出許可がある患者に関しては外出の申し出があった段階で自由に行って頂いております。また、当院では院内散歩というシステムを採用し、主治医の許可がある患者に関しては 13:30~16:00 までの時間は病院内を自由に散歩して頂いております。外出や院内散歩の許可がない患者に対しても、職員同伴にはなりますが時間の許す限り院内の屋上や中庭などの散歩を実施しております。現在の外出許可に関しては、患者の病状にも大きく影響致しますので主治医と相談の上、今以上の改善が出来ればと考えております。)

#### 診察の待ち時間

患者から「主治医はよく話を聞いてくれる。座って待つが、待ち時間が長い」との声があった。訪問時は処置室前に椅子 4 脚が並んでいた。

(病院: 原則的に診察室前で待機して頂くように説明はしてはおりませんが、診察を始める前に放送でお知らせしているため、その段階から診察室前で待たれている患者がいるのは事実です。医師によっては受け持ち患者が十数名いる医師もあり、放送を行ってから 1 時間以上待たれる場合もあります。今後は、診察を開始する放送と同時に診察を行える少し前に各患者の部屋に声を掛けに行くこともお伝えするよう改善していきます。)

#### 薬の渡し方

新館 2~5 階は、基本的には薬は詰所へ取りに行くことになっていた。

(病院: 原則各病室を訪ねて一人一人手渡しして飲んでもらうということにしていますが、患者によっては「いちいち部屋で待つのは嫌」「薬を飲んで早く喫煙したい」などの要望もあり、食後そのままホールでの服用を希望される患者もいます。医療安全

上においての必要性を再度説明し、病室での服用を定着させていきたい。)

#### 入浴回数

週 2 回で 7 月~9 月は加えて週 1 回のシャワー浴があるとのことだった。

(病院: 週 2 回と 7 月~9 月はシャワー浴を随時提供できるように検討します。)

精神保健福祉資料より(平成 24.6.30 時点)  
207 名の入院者のうち統合失調症群が 151 名(73%)、気分障害が 25 名(12%)、認知症など症状性を含む器質性精神障害が 10 名(5%)。入院形態は任意入院 91 名(44%)、医療保護入院 106 名(51%)。在院期間は 1 年未満が 141 名(68%)、1 年以上 5 年未満の患者が 33 名(16%)、5 年以上 10 年未満の患者が 11 名(5%)、10 年以上 20 年未満が 13 名(6%)、20 年以上 9 名(4%)。